

春の全国火災予防運動

火の取扱いには十分な注意を

3月1日(土)から3月7日(金)まで、春の全国火災予防運動が行われます。空気が乾燥して火災が発生しやすい季節です。火の取扱いには十分注意しましょう。



消防本部 992-3211
消防署 995-0119

平成 25 年度全国統一防火標語
『消すまでは心の警報ONのまま』

平成 25 年度裾野市防火標語
『寝る前に火の元確認もう一度』



全国的に多い たばこによる火災

平成 24 年中のたばこによる火災は 4,212 件で放火に次いで第 2 位の出火原因です。そのうち、不適当な場所への放置によるものが 2,407 件で半数以上になります。また、平成 24 年中の住宅火災による死者（放火自殺者などを除く）を発火源別にみると、たばこによるものが全体の 15.6% と最も多いです。当市でも寝たばこによる再燃火災がありました。布団や座布団などの綿製品は、たばこの火で少し焦げた程度でも、火が中に入るとなかなか消えません。消したつもりでも、再び燃えだすことがよくありますので、浴槽やたらいなどにつけて完全に消しましょう。消火後も再燃しないように入念に確認してください。

たばこによる火災を防ぐため以下のことを守りましょう。

- 寝たばこは危険です。絶対にやめましょう。
- 歩きたばこや、ポイ捨ては絶対にやめましょう。
- 灰皿に水を入れておき、周りに燃えやすいものを置かないようにしましょう。
- 灰皿にたまった吸い殻はこまめに掃除しましょう。
- 吸殻を捨てる時は、一度水にさらすなどして完全に火が消えたことを確認してから捨てるようにしましょう。

家族を火災から守る 住宅用火災警報機と防災製品

命を守る住宅用火災警報器

- 当市の平成 25 年 11 月現在の設置率は 76.7% で前年度と比較し 9.0% 上昇しています。
- 火災警報機の設置が市条例で定められてからもうすぐ 10 年が経過します。電池の寿命は約 10 年です。電池の交換や機器の更新の必要がないか確認してください。

火災の拡大を防ぐ防災製品

防災製品は、火災の初期のような小さな火源に対して燃えにくくする処理がされています。万が一火災が発生しても、急激に火災が拡大するのを防ぎます。

